

事業番号5		平成 26 年度事務事業評価調査				資料1	
事業コード	04020301	区	分	☒ 実行	☐ 経常		
事務事業名	金剛山の里 棚田夢灯り&収穫祭	担当部署名	地域振興課				
		作成責任者職氏名	課長 北浦秀明	内線	455		
第4次総合計画 体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)				
	04観光・産業・地域振興	02農林業の振興	03遊休農地の解消				
実施期間	☐ 単年 ☒ 継続 (平成20年度～ 年度)		実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 補助等			
根拠法令等	☐ 有 ☒ 無	法令等の名称	義務付け		☐ 有 ☒ 無		

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容

①目的

棚田の魅力や村の良さを周知し、地域間交流を進め、地域の活性化を図る。

②内容

下赤阪の棚田において村民協働により灯ろうでライトアップし、村の農業・農産物などの情報発信の場とする。

(2)対象(誰を対象とするのか)

村民及び村外

nousanbutu

(4)事務事業を進める上での課題や問題

村内外の住民の交流を図る。イベントを契機として、村内外に村の魅力(人・もの・情報)を発信し、村の活性化を図る。

財源の確保(観覧者からの協力金徴収)、他のイベントとの同時開催の検討。

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費

		24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)
			事業費(予算)	実績(見込)		
事業費(見込含む)(千円)(A)		1,800	1,800	1,800	1,500	1,500
財源内訳	国庫支出金					
	府支出金					
	分担金・負担金					
	使用料・手数料					
	起債					
	その他の特財					
一般財源		1,800	1,800	1,800	1,500	1,500
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	3,328	3,328	3,328	3,328	3,328
総コスト費(千円)(A+C)		5,128	5,128	5,128	4,828	4,828
人口あたりコスト(円)		846	846	846	797	797

(2)成果指標等

番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	棚田夢灯り開催協働参加者数	人	300	300	100%	300	300
②	目標指標	棚田夢灯り開催来客者数	人	4,000	4,000	100%	4,000	4,000
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値)

200% / 2 = 100% (A)

(1/2)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	交流人口の増、に寄与している。 しかし来場者が多くなると安全、警備に問題が生じる可能性がある。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	村民協働や来村者数からは、効果があった。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	事業費に比して多くの人の目を村に向けることによる宣伝効果が あった。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	来場者からの協力金も得ることができた。

○事務事業評価値 (①～④の合計／16)	12	／16	75%	(B)
-------------------------	----	-----	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A) + (B) / 2	評価ランク(改善の目安)
100%	75%	88%	b
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30～49%(休止・廃止又は縮小) b: 70～89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50～69%(縮小又は見直し改善)			

Ⅳ 事務事業改善の方向性＜Action＞

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	B ← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
棚田の魅力や村の良さを周知し、地域間交流を進め、地域の活性化を図るため、引き続き実施する。	

Ⅴ 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
小中学生をはじめ、様々な世代の方がボランティアとして活躍しており、世代間・地域間交流の促進や地域の活性化、郷土愛の育成、また村外へ棚田の魅力・村のPRなどに貢献しており、今後も引き続き実施する。 また今後棚田夢灯り&収穫祭がより一層認知されるにつれ、来場者数の増加により、警備・交通問題などが懸念される。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止